



## 4月から始まったごみ全量外部搬出

先日、環境資源ギャラリーの様子を見てきました。収集車で集めたごみを積み替える施設もでき、故障による緊急停止でピットに山積みされていたごみもなくなっていました。



順調に搬入→積み替え→搬出ができているのを確認してきました。量も前年度より減っているようです。

燃やすごみの半分以上は、県内自治体との協定にもとづいて、静岡市・浜松市が積み替えて、袋井・磐田・御前崎が収集車の直接搬入で処理されています。この他に民間業者により関連会社の御殿場・三重の処理施設にコンテナで運ばれています。ごみ量などをみながら委託業者が調整しています。

ごみの量を減らすことがダイレクトに費用削減につながります。ごみ処理を他に任せている状態を市民に知らせながら、ごみ減量の取組みを市と市民が意識改革しながら進めていくことが大事です。

新施設建設は入札公募が始まりました。

ギャラリーのホームページから確認ができます。今年末には落札者が決定します。

組合議員になれなかったのも、議会傍聴もしながら、市民の皆さんへの情報提供を促していきます。



今年も見事なアマリリス

## 5月臨時会で

### 議会構成決定

5/6に議会の新しい構成を決める5月臨時会が開催されました。私は総務委員会と広報広聴特別委員会に所属します。

議長選と環境資源ギャラリー組合議員に立候補しましたが落選しました。（環境資源ギャラリー組合議員は同数抽選で外れて落選）第一会派創世会（自民党）が過半数を占めるいびつな議会構成の中、「物言ひ議員」の存在は大事だと思っています。

今回はじめて総務委員会に所属しました。勉強していきます。

## 小中学校のタブレット一括購入予算に反対

5月臨時会でタブレットのリースをやめ、約8.5億円で一括購入する補正予算が通りました。

今、早くから教育にDXを取り入れた北欧やフランスなどで、その見直しがされています。子どものタブレットやSNS利用を制限したり、教育での利用をやめたりしている国が生まれています。

子どもたちの体力や視力の低下だけでなく、過度なSNSでのやりとりがもたらす心の病や対人関係のトラブル、問いと答えの間にクツシヨンがないネット検索がもたらす深い思考の減少、五感を使

う実体験の減少…。対して、日本では手放してタブレットが語られる一方、デメリットを含めた総合的な検証がされません。

コロナパンデミックに乗じて一気にすべての小中学生にひとり一台端末を手渡した日本は、今回5年で更新時期を迎えたとのことで、5年前同様一気に買い換えをします。2/3は国の補助ですが、すべて私たちの税金です。

以前どんぐり探しに行く前に、何して遊ぶかをタブレットを見て子どもたちに問いかける研究授業を見ました。

「今の時代、ICT技術は不可欠で、ネット検索や表現力などタブレット操作に早くから習熟する事が大事」という賛成意見を否定はしません。でもどんなどんぐりがどこに落ちていて、どれがおいしいか、手触りや質感など、五感を総動員する大切な時間はタブレットでは味わえません。

県内での一斉更新は3自治体中23自治体。必ずしも5年たったら壊れるわけでもないわけで、更新を急がず、ゆっくり検証した上で、例えば低学年はグループ程度で、とか、いろいろな選択肢があってもいいのではないか。

デメリットを語らない。急がせ、選択させない国の教育DX推進は心配です。